

目標達成計画

事業所： グループホームら・そしあ

作成日： 平成 25 年 3 月 28 日

市町村受理日：平成 25 年 4 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回の避難訓練は消防署の指導や町内会住民の協力で実施しているが、多くの職員が的確に行動できるよう、自主訓練の回数や内容を検討する必要がある。また、火災以外の災害に対する準備が不十分である。	職員一人ひとりが非常時に対応できるよう避難訓練のほかに自主訓練を実施する。また、火災以外の災害に対して、食料や寒さをしのぐための物品等も用意していく。	年2回（9月・3月）の定期訓練のほか、担当係が自主訓練の内容を検討し、毎月実施する。備蓄品等の用意をすすめ、定期訓練時に見直しをする。	25年度中
2	6	高齢者虐待防止の外部研修に数名参加し、内部報告会も行った。身体拘束を行ってはいないが、禁止の対象となる具体的行為について、すべての職員が理解できているわけではない。	昨年度同様、高齢者虐待防止の外部研修に参加し、内部報告会を行う。身体拘束の禁止の対象となる具体的行為の理解を深めるとともに、不適切なケアなどの事例検討会を実施する。	高齢者虐待防止関連の研修参加と内部報告会の開催。身体拘束禁止のマニュアル（冊子）の活用をすすめる。事例を通じて不適切なケア等を考える内部研修を実施する。	25年度中
3	10	職員が介護支援専門員の研修受講をきっかけに、介護計画作成のためのアセスメントが不十分だったことに気付いた。日々の記録やモニタリングの方法がユニットによってばらつきがあり、統一されていない。	利用者の日々の様子を職員がカンファレンス等で情報共有し、アセスメントして、介護計画に取り込んでいく。リーダーの会議で、記録やモニタリングの方法や時期を検討し、統一していく。	毎月のユニットのカンファレンスで、利用者状況を職員間で共有し、アセスメントや介護計画につなげていく。リーダー会議で、日々の記録の方法やモニタリングの時期等について、検討する。	25年度中
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。